

梅雨明けに関するお知らせ

平成23年7月9日11時10分
佐賀地方気象台発表

(見出し)

福岡管区気象台は、「九州北部地方(山口県を含む)は、梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

(本文)

九州北部地方(山口県を含む)は、高気圧に覆われて概ね晴れています。向こう一週間は、湿った気流の影響で曇る所もありますが高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、九州北部地方(山口県を含む)は7月9日ごろに梅雨明けしたと見られます。

(参考事項)

1. 平年の梅雨明け 7月19日ごろ
2. 昨年の梅雨明け 7月17日ごろ
3. 梅雨入りを発表した6月5日から7月8日までの降水量の合計(速報値)

気象官署

	降水量の合計	期間の平年値	平年比
佐賀	718.0ミリ	(437.5ミリ)	164%
アメダス			
伊万里	823.5ミリ	(459.5ミリ)	179%
嬉野	922.5ミリ	(509.5ミリ)	181%
白石	693.5ミリ	(421.5ミリ)	165%
川副	677.5ミリ	(365.1ミリ)	186%
唐津	639.0ミリ		
佐賀市北山	711.0ミリ		
鳥栖	741.5ミリ		

()内は6月5日から7月8日までの期間の降水量の平年値であり、降水量の合計は速報値です。

* 佐賀、伊万里、嬉野、白石の平年値は、1981年～2010年の平均値です。

* 川副の平年値は、2003年～2010年の平均値です。

* 唐津、佐賀市北山、鳥栖は2010年から運用を開始しているため、期間の平年値と平年比はありません。

(注意事項)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日が変更となる場合があります。